

専 門 教 養
令 和 6 年 7 月
60分

受 験 教 科 等
小・中・高等学校共通 保健体育

注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、9ページです。はじめにページ数を確認してください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号を記入し、受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名を記入**してください。ただし、【3】の**選択問題を表す欄のマークは不要**です。
- 8 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 10 問題の内容についての質問には一切応じません。

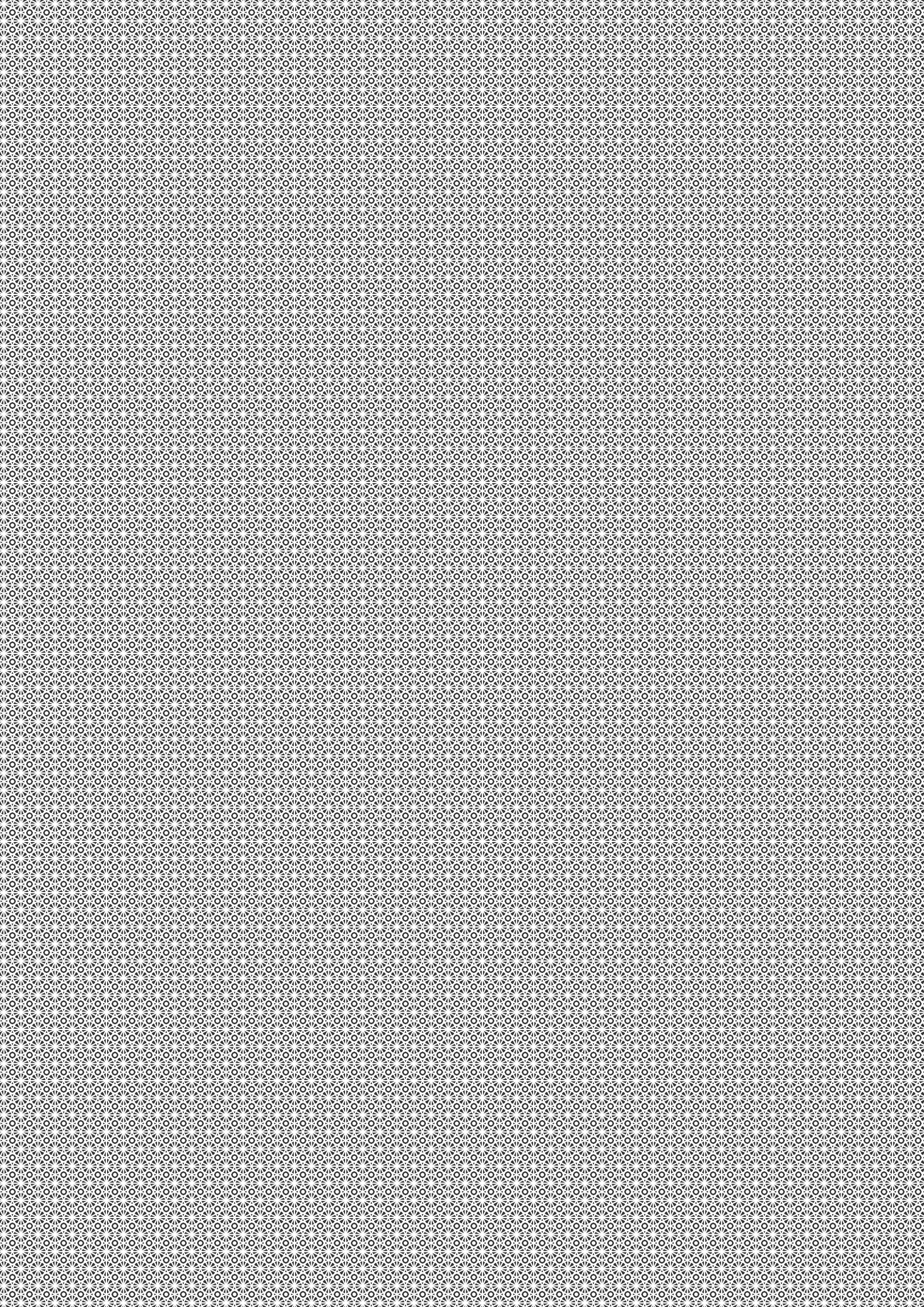
解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の(例1)のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

(例1)

解答 番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



1

次の各問に答えよ。

[問 1] 中学校学習指導要領保健体育の「各学年の目標及び内容」の〔保健分野〕の「内容」において、身に付けることができるよう指導するとされている事項に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 「生涯を通じる健康について理解を深めること。」の「生涯の各段階における健康」については、生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていること。
- 2 「現代社会と健康について理解を深めること。」の「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」については、喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であること。
- 3 「健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。」については、感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。
- 4 「健康を支える環境づくりについて理解を深めること。」の「健康に関する環境づくりと社会参加」については、自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であること。

[問 2] 高等学校学習指導要領保健体育の「各科目」の「体育」の「目標」に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 2 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。
- 3 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- 4 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

[問 3] 「スポーツ基本計画」(文部科学省 令和4年3月)に示された、今後の施策目標に関する記述として適切なものは、次の1~4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 体育・保健体育の授業等を通じて、運動好きな子供や日常から運動に親しむ子供を増加させ、生涯にわたって運動やスポーツを継続し、心身共に健康で幸福な生活を営むことができる資質や能力の育成を図る。その結果として、1週間の総運動時間(体育授業を除く。)が60分未満の児童の割合を15%(令和3年度)から半減、生徒の割合を20%(令和3年度)から半減を目指す。
- 2 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週1回以上実施し、1年以上継続している運動習慣者の割合の増加を目指す。
- 3 全国各地域が「スポーツによる地方創生、まちづくり」に取り組み、それらを将来にわたって継続させ、各地に定着させるよう、促進する。その結果として、スポーツ・健康まちづくりに取り組む地方公共団体の割合を2026年度末に15.6%(令和3年度)から40%とする。
- 4 障害者スポーツの体験等による一般社会に対する障害者スポーツの理解啓発に取り組むことにより、人々の意識が変わり、共生社会が実現されることを目指す。このため、学校体育等以外について、障害者スポーツを体験したことのある者の割合を50%程度とすることを旨とする。

[問 4] 次の記述は、「オリンピック憲章 [2023年10月15日から有効] (国際オリンピック委員会)」(公益財団法人 日本オリンピック委員会 2023年12月発行)に示された「オリンピズムの根本原則」に関するものである。記述中の空欄 ・ に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、下の1~4のうちのどれか。解答番号は 。

1 オリンピズムは肉体と と精神のすべての資質を高め、バランスよく結合させる生き方の哲学である。オリンピズムはスポーツを文化、 と融合させ、生き方の創造を探求するものである。その生き方は努力する喜び、良い模範であることの教育的価値と社会的な責任、さらに国際的に認知されている人権、およびオリンピック・ムーブメントの権限の範囲内における普遍的で根本的な倫理規範の尊重を基盤とする。

- | | | | | |
|---|--------------------------------|----|--------------------------------|----|
| 1 | <input type="text" value="ア"/> | 意志 | <input type="text" value="イ"/> | 教育 |
| 2 | <input type="text" value="ア"/> | 技術 | <input type="text" value="イ"/> | 教育 |
| 3 | <input type="text" value="ア"/> | 意志 | <input type="text" value="イ"/> | 社会 |
| 4 | <input type="text" value="ア"/> | 技術 | <input type="text" value="イ"/> | 社会 |

[問 5] 「熱中症対策ガイドライン」(東京都教育委員会 令和4年7月)に示された、熱中症の病型に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 熱失神については、「大量に汗をかき、水だけ(あるいは塩分の少ない水)を補給して血液中の塩分濃度が低下したときに起こるもので、痛みをともなう筋けいれん(こむら返りのような状態)がみられる。」とされている。
- 2 熱疲労については、「炎天下にじっと立っていたり、立ち上がったとき、運動後などに起こる。皮膚血管の拡張と下肢への血液貯留のために血圧が低下、脳血流が減少して起こるもので、めまいや失神(一過性の意識消失)などの症状がみられる。」とされている。
- 3 熱射病については、「過度に体温が上昇(40℃以上)して脳機能に異常をきたした状態である。体温調節も働かなくなる。種々の程度の意識障害がみられ、応答が鈍い、言動がおかしいといった状態から進行すると昏睡状態になる。」とされている。
- 4 熱けいれんについては、「発汗による脱水と皮膚血管の拡張による循環不全の状態であり、脱力感、倦怠感、めまい、頭痛、吐き気などの症状がみられる。」とされている。

[問 6] 水泳プールに係る学校環境衛生基準に関する記述として、「学校環境衛生基準」(文部科学省 令和6年3月)に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 遊離残留塩素は、1.4mg/L以上であること。また、2.0mg/L以下であることが望ましい。
- 2 pH値は、5.8以上8.6以下であること。
- 3 濁度は、4度以下であること。
- 4 有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)は、30mg/L以下であること。

[問 7] 体づくり運動に関する記述として、「学校体育実技指導資料 第7集 体づくり運動－授業の考え方と進め方－（改訂版）」（文部科学省 平成24年7月）に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 「体ほぐしの運動」は、運動経験の有無が影響することなく誰もが楽しめる手軽な運動や律動的な運動を通して、運動の得手不得手を越えて、仲間と運動を楽しんだり協力して運動課題を達成したりしていくことができる。
- 2 「巧みな動きを高めるための運動」は、体のバランスをとったり移動をしたりする動きや、用具を操作したり力試しをしたりする動きを意図的にはぐくむ運動を通して、体の基本的な動きを総合的に身に付けるとともに、それらを組み合わせた動きを身に付けることをねらいとして行う運動である。
- 3 「多様な動きをつくる運動」は、体の各部位を前もって緊張したり、意識的に解緊したりすることによって、体の各部位の可動範囲を広げることをねらいとして行われる運動である。
- 4 「体の柔らかさを高めるための運動」は、自分自身で、あるいは人や物の動きに対応してタイミングよく動くこと、バランスをとって動くこと、リズムカルに動くこと、力を調整して素早く動くことができる能力を高めることをねらいとして行われる運動である。

[問 8] 鉄棒運動の技に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 後方支持回転は、鉄棒上での支持姿勢から上体を前方に振り出し、手で脚を抱え込んで、回転する技である。
- 2 かかえ込み回りは、前後開脚の支持姿勢から後方に上体と脚を大きく振り出して、回転し、前後開脚の支持姿勢に戻る技である。
- 3 前方支持回転は、支持姿勢から体を前方に勢いよく倒して回転し、上体を一気に起こし、手首を返して支持姿勢に戻る技である。
- 4 後方片膝掛け回転は、腕支持の姿勢から体を後方に勢いよく倒し、腹部を鉄棒に引き寄せて回転し、上体をすばやく起こして支持姿勢に戻る技である。

[問 9] 陸上競技の規則に関する記述として、「陸上競技ルールブック2024年度版」(公益財団法人日本陸上競技連盟 2024年4月)に照らして適切なものは、次の1~4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 三段跳は、ホップ、ステップおよびジャンプの順で成立っている。競技者はホップで踏切った同じ足で最初に着地し、ステップでは反対の足で着地し、つづいてジャンプを行う。試技中に「振り出し足」が地面に触れたら、無効試技となる。
- 2 ハードル競走では、手や体、振り上げ脚の前側で、いずれかのハードルを倒したり、移動させたりした時は、失格とならない。
- 3 400mを超えるレースでは、全てのスタートはクラウチング・スタートで行われなければならない。
- 4 高さを競う全ての競技では、計測は1cm刻みで、地面から垂直にバーの上部の一番低いところで計測する。

[問10] 水泳に関する記述として、「学校体育実技指導資料 第4集 水泳指導の手引(三訂版)」(文部科学省 平成26年3月)に照らして適切なものは、次の1~4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 クロールでは、左右の脚の幅は、親指が触れ合う程度にし、踵を30cm以上離すよう指導する。
- 2 平泳ぎでは、両手のひらを上向きにそろえ、腕の前、あごの下から水面と平行に前方へ出すよう指導する。
- 3 背泳ぎでは、腕は、手のひらが水面近くを太ももに触れる程度までかき進め、最後は手のひらを下にして腰の下に押し込むようにするよう指導する。
- 4 バタフライでは、手の甲を斜め外向き45°程度にして頭の前、肩幅に手先を入水するよう指導する。

[問11] ソフトボールのルールに関する記述として、「2024 オフィシャル・ソフトボール・ルール」(公益財団法人 日本ソフトボール協会 2024年2月)に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 11。

- 1 正式の試合は7回であり、7回終了時、同点の場合は、8回からタイブレークにより試合を継続する。
- 2 3回10点、4回7点、5回以降5点以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。
- 3 走者は、プレイ進行中にヘルメットを意図的に脱いでもアウトにならない。
- 4 後位の走者がアウトになっていない前位の走者を追い越したときは、前位の走者がアウトになる。

[問12] 柔道の技に関する記述として、「学校体育実技指導資料 第2集 柔道指導の手引(三訂版)」(文部科学省 平成25年3月)に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。ただし、「取」は「技をかける方」、「受」は「技を受ける方」を示しており、投げ技については、右組みを標準としている。解答番号は 12。

- 1 払い技系は、「取」が前さばきや後ろさばきから体を捨てながら「受」を前や横に崩し、「受」は宙を舞うように前回り受け身をとる技のまとまりである。代表的な技に巴投げがある。
- 2 捨て身技系は、「取」が前さばき(後ろさばき)で「受」を後ろに崩し、「受」は左足または右足を支点に後ろ受け身をとる。進んだ段階では宙を舞うように後ろ受け身をとる技のまとまりである。代表的な技に大外刈りがある。
- 3 支え技系は、「取」が前さばき(後ろさばき)で「受」を前に崩し、「受」が右足を支点に横受け身をとる技のまとまりである。代表的な技に膝車がある。
- 4 刈り技系は、歩み足で前後に移動したり、継ぎ足で横へ移動する時などに、「受」を横や斜め横方向に崩し、「受」は足を払われ宙を舞うように横受け身をとる技のまとまりである。代表的な技に送り足払いがある。

[問13] ダンスに関する記述として、「学校体育実技指導資料 第9集 表現運動系及びダンス指導の手引」（文部科学省 平成25年3月）に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 ダンスの語源の一つに「生活の質：quality of life」という意味がある。
- 2 「フォークダンス」は、世界各国・各地域で自然発生し、伝承されてきた地域固有のダンスであり、決まった様式や動きには国や地域の風土や文化が反映されている。
- 3 「リズム系ダンス」は、1920年代に確立された「モダンダンス」に由来し、一人一人の個性に応じて創造的なダンスで表したいイメージや思いを自由な動きで踊る。
- 4 「表現系ダンス」は、1950年代に現れたロックや近年のストリートダンスを背景とするヒップホップなど、ビートが主体のリズムに乗って全身で踊るダンスの総称であり、人々を踊りに誘う「律動の快感」がある。

[問14] 体育理論における運動やスポーツの学習に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 相手やまわりの状況に応じて最適な技術を選択したり、技術と技術を組み合わせたりすることを戦略という。
- 2 武道や球技のように、たえず変化する状況の中で用いられる技能をクローズドスキルという。
- 3 陸上競技や水泳のように、比較的安定した環境の中で用いられる技能をオープンスキルという。
- 4 運動をおこなったとき、運動した結果の情報が直接的、間接的に運動した人に戻されることをフィードバックという。

[問15] 薬物に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 覚醒剤は、幻覚や妄想が現れ、中毒性精神病になりやすい。使用をやめれば再燃することはない。大量に摂取しても死に至らない。
- 2 大麻は、知覚を変化させるが、恐慌状態を引き起こすこともある。乱用を続けると、勉学に支障をきたすだけでなく、記憶障害、人格変化を起こす。
- 3 MDMAは、知覚を変化させる。大量に摂取すると低体温になり、死に至る。
- 4 コカインは、幻覚や妄想は現れない。大量に摂取すると全身痙攣を起こすほか、死に至る。

[問16] ユニバーサルデザインに関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。

解答番号は 。

- 1 年齢や障害などの特性にかかわらず、誰もが普通に暮らせるようにする理念のこと。
- 2 施設において、入居者が居宅に近い居住環境のもとで、日常生活を送れるように、10人くらいの少人数をひとつのユニットとして介護を行うこと。
- 3 障害の有無や年齢、能力、体格に関係なく、誰もが利用できる生活用品や建築に関するデザインや設計のこと。
- 4 高齢者や障害のある人が社会参加をしようとすることを妨げる障壁をなくす取組のこと。

[問17] 食品の安全に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は

。

- 1 HACCPとは、食品のリスクについて、消費者、製造者、行政担当者などの関係者の間で、情報や意見を互いに交換することである。
- 2 リスクコミュニケーションとは、原材料の受け入れから製品の出荷までの各工程であらかじめ危害を予測し、危害防止につながる重要な工程を継続的に監視・記録する衛生管理方法のことである。
- 3 検疫所の食品衛生監視員は、海外から感染症や害虫などが持ち込まれることを防ぐために、全国の検疫所において輸入食品の審査・検査を行っている。
- 4 食品衛生法により、生産者や製造者には、原産地、原材料、消費期限または賞味期限などを含む食品表示が義務付けられている。

[問18] 世界での保健活動に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答

番号は 。

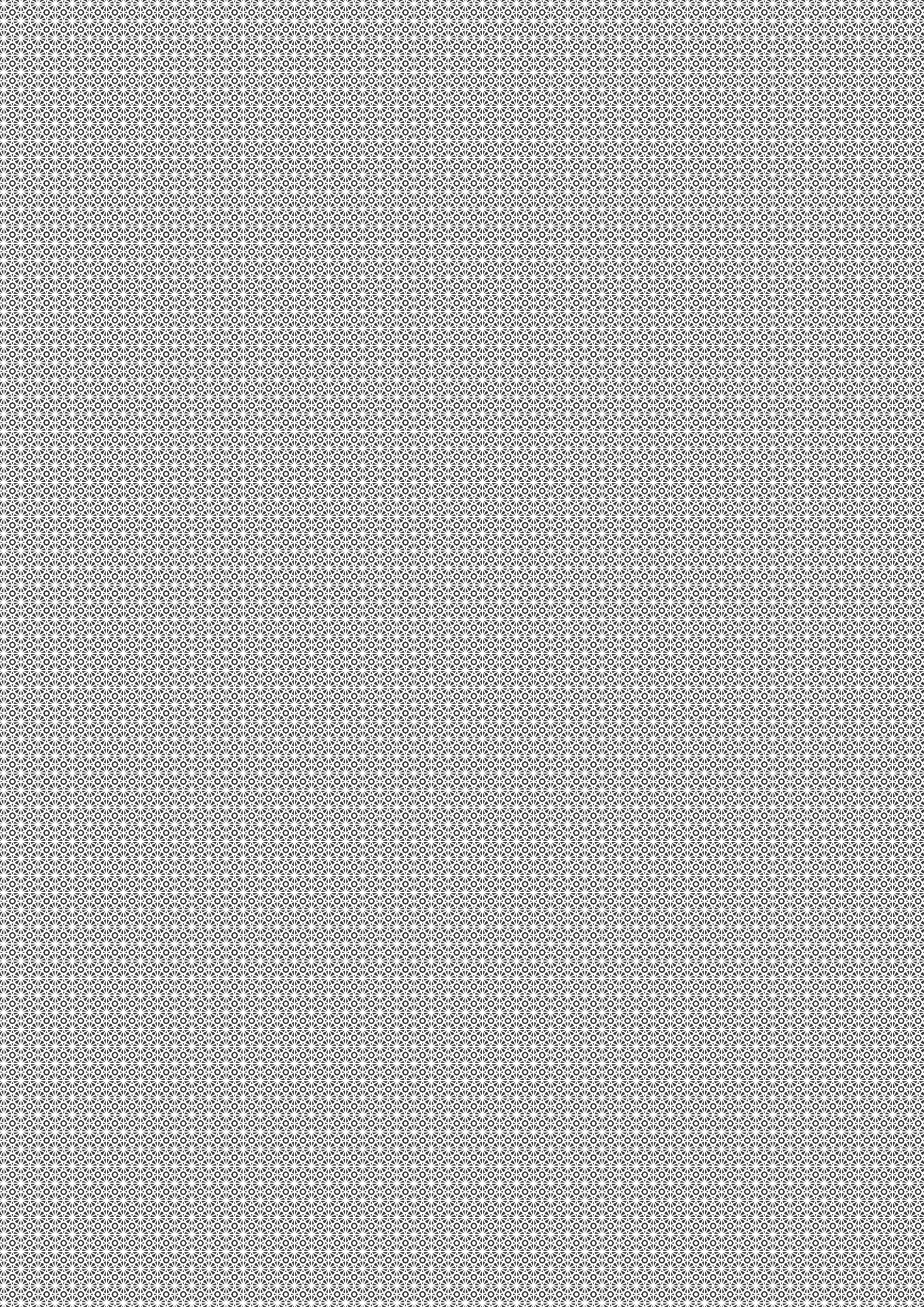
- 1 UNICEFは、世界保健機関のことであり、感染症の対策、災害医療、衛生統計の作成など、広い分野にわたって活動を行っている。
- 2 WHOは、国際連合児童基金のことであり、開発途上国や内戦で被害を受けている子どもの栄養改善や病気を予防するための活動を行っている。
- 3 日本赤十字社は、政府機関であり、赤十字に関する諸条約及び赤十字国際会議において決議された諸原則の精神にのっとり、赤十字の理想とする人道的任務を達成することを目的としている。
- 4 国境なき医師団は、非営利で国際的な民間の医療・人道援助団体である。危機に瀕した人々への緊急医療援助を主な目的とし、1971年にフランスで設立された。

[問19] がんに関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 がんの発生は、遺伝的要素によるもののみであり、喫煙や飲酒などの生活習慣によるものはない。
- 2 がんの治療法には、手術療法、放射線療法、化学療法があり、これらを組み合わせて行うことはできない。
- 3 がん検診は、我が国では、肺がん検診を、50歳以上を対象として、2年に1回の間隔での受診を推奨している。
- 4 我が国では、がん対策基本法に基づく「がん対策推進基本計画」によって、社会的対策が総合的かつ計画的に進められている。

[問20] 教室等の環境に係る学校環境衛生基準に関する記述として、「学校環境衛生基準」（文部科学省 令和6年3月）に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 相対湿度は、40%以上、90%以下であることが望ましい。
- 2 気流は、0.5m/秒以下であることが望ましい。
- 3 ダニ又はダニアレルゲンは、200匹/m²以下又はこれと同等のアレルゲン量以下であること。
- 4 一酸化炭素は、9ppm以下であること。



3 問題文中の $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などの \square には、数字又は符号（-）が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1) $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……の一つ一つは、それぞれ1~9、0の数字又は符号（-）のいずれか一つに対応します。それらを $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 $\boxed{234}$ に -84 と解答する場合には、次の（例2）のようにマークします。

解答番号	解答欄
(例2) $\boxed{2}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{3}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{4}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\boxed{56}}{\boxed{7}}$ に $-\frac{4}{5}$ と解答する場合には、 $-\frac{4}{5}$ として、次の（例3）のように

マークします。

解答番号	解答欄
(例3) $\boxed{5}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{6}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{7}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていないならば、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 $\boxed{8.910}$ に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。

問題番号		解答 番号	正答	配点	備考
大問	小問				
1	問1	1	3	5	
	問2	2	4	5	
	問3	3	3	5	
	問4	4	1	5	
	問5	5	3	5	
	問6	6	2	5	
	問7	7	1	5	
	問8	8	3	5	
	問9	9	4	5	
	問10	10	3	5	
	問11	11	1	5	
	問12	12	3	5	
	問13	13	2	5	
	問14	14	4	5	
	問15	15	2	5	
	問16	16	3	5	
	問17	17	3	5	
	問18	18	4	5	
	問19	19	4	5	
	問20	20	2	5	